



小松市民茶会実行委員会
岩谷 宗久 さん

コロナ禍で中止していた文化の日のお茶会が、昨年から復活しました。今年は市内で活動する「小松裏千家茶道会」「小松表千家松晴会」「煎茶松月流」の3流派がおもてなしします。予約制を取り入れ、スムーズにご案内できるように準備を進めています。

国民文化祭の試みとして、各流派で異なる九谷焼のお茶碗を主として取り合わせの中に入れていきます。小松ならではの茶会を、どうぞお楽しみください。

小松俳文学協会 会長
有賀 三枝子 さん

小松市は松尾芭蕉が訪れ4つの句を詠んだこともあり、古くから俳句文化が息づいている町です。小松俳文学協会では今年40周年を迎えたことを機に、もっと若い人に少しでも俳句に興味を持ってほしいと考えています。形にこだわらずまずは気軽に俳句に触れ、楽しんでもらいたいです。

11月19日にフルーツポンチの村上健志さんを招いて開催する「奥の細道トークショー」では、来場者参加型の企画も用意しているので、たくさんの人に来ていただきたいです。



石川県かるた協会 理事
宮 良美 さん

国民文化祭「小倉百人一首競技かるた全国大会」の競技委員長を務めます。選手の皆さんが気持ちよく力を発揮出来るよう、運営準備を進めています。

今大会はトップレベルの選手が全国から一堂に会する貴重な機会です。

また選手の皆さんは全員和装で日頃の練習の成果を披露してくれます。札が読まれる瞬間の「静」の緊張感と、一音から始まる「動」の華麗な技を、皆さんにも体感していただきたいです。



小松市文化協会 会長
石川県漢詩連盟 会長
北畠 能房 さん

小松は百万石文化の古里といえる町です。加賀藩三代前田利常公は大規模な藩政改革を実施され、大坂米市場への海上航路の開拓、殖産興業はもとより文化振興の人材育成に努力されました。

小松市文化協会では、城下町の気風を引き継ぐ伝統文化団体、維新时期以降の多様な文化活動団体が「リードこまつ2023」にて全国に発信していきます。

また、10月28日には「全国漢詩の祭典 百万石漢詩文化—絢爛と継承—」を開催します。全国から応募された創作漢詩の優秀作品の表彰・吟詠と共に、藩政期における漢詩文化の広がりを「構成吟」で紹介し、漢字・漢詩文教育の重要性を記念講演にて発信します。

みんなの声!

INTERVIEW インタビュー

勸進帳 弁慶役
宮野 陽心 さん
(松東みどり学園9年)

6月中旬から、平日はほぼ毎日練習をしています。練習は仲がいい仲間と一緒になので、賑やかで楽しいです。先生の一つひとつの動きをしっかりと見て覚えるように心掛けています。中学生が演じているように見えにくい、迫力のある弁慶を演じたいと思っています。精一杯頑張りますので、たくさんの人に見に来てほしいです。



いよいよ開幕!

第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭

いしかわ百万石 文化祭2023

特集



10.14_土~11.26_日

いしかわ百万石文化祭2023とは

各種の文化について全国規模で発表・共演し、障がいのある人もない人も共に参加して、交流の輪を広げていく文化祭です。今回は「文化絢爛」をキャッチフレーズに開催されます。石川県での開催は、国民文化祭が平成4年以来2回目、全国障害者芸術・文化祭は初めてとなります。

いしかわ
百万石
文化祭
2023



市民総参加でつくる文化祭

小松市には古くより紡いできた歴史や伝統・文化が今も息づいています。そして、人・モノが行き交うことで小松の文化は日々進化しています。

いしかわ百万石文化祭2023では、市内で7つの地域文化発信事業と2つの文化団体事業を開催します。各事業において歌舞伎や能に代表される伝統芸能、九谷焼を中心とした伝統工芸、茶の湯文化、俳句、1200年にわたる加賀立国の歴史、競技かるた、漢詩など、これまで培ってきた多様な交流と小松の文化力を全国へ発信します。

市民総参加で盛り上げ、本祭をきっかけとして来年3月16日に迫る北陸新幹線小松駅開業に向けてさらなる文化力、おもてなし力の向上を目指します。

国内最大の文化の祭典が、いよいよ開幕します。この貴重な機会に、日頃から文化活動をしている人だけでなく、文化に触れる機会があまりない人も、文化の秋に浸りませんか?

特集に関する問い合わせ

文化振興課 ☎ 24・8130

詳しくはこちら▶



奥の細道 トークショー 参加者募集



入場
無料
ペア招待券
が必要

ゲスト



お笑いコンビ
フルーツポンチ
村上 健志 さん



アナウンサー
井上 貴博 さん

とき 11月19日(日) 13時30分～15時
ところ 團十郎芸術劇場うらら 大ホール

俳句にまつわるトークショーを行い、魅力や楽しみ方を紹介します。
来場者参加型の俳句イベントも開催予定！

- 定員** ペア300組600人(応募多数の場合は抽選)
- 申し込み** 10月31日(火)までに下の申し込みフォームから、またはハガキに「郵便番号、住所、名前、電話番号」を記入して郵送
- 申込先** 〒920-8560 金沢市本多町3-2-1
北陸放送 開発事業部「奥の細道トークショー」係
- そのほか**
 - 申し込みは1人1回限りです。
 - 当選者には当選ハガキ(ペア招待券)を郵送します。当選ハガキは当日会場で座席指定のチケットと交換します。座席の場所は指定できません。
 - 転売目的の申し込みは固く禁止します。
 - 応募の際の情報は抽選結果の連絡にのみ使用します。
- 問い合わせ** 文化振興課 ☎24・8130



イベント概要・申し込みはこちら▲

特別展「加賀国の九谷焼」

とき 10月7日(土)～11月26日(日) 会期中無休
ところ 博物館、錦窯展示館
入館料 一般500円



ギャラリートーク

とき 11月5日(日) 10時30分から
ところ 市民ギャラリーフレ(博物館1階)
講師 梶山博史(中之島香雪美術館 学芸課長)
定員 50人(先着順)
参加費 無料
申し込み こまつ電子申請サービスから
問い合わせ 博物館 ☎22・0714

加賀立国1200年記念特別展 「加賀国府と江沼・能美」

加賀国誕生の礎となる古代の江沼・能美の歴史を分かりやすく解説します。

とき 10月14日(土)～11月26日(日)
ところ 加賀国府ものがたり館

問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713



「展覧会」

全国漢詩の祭典 百万石漢詩文化—絢爛と継承—

加賀藩ゆかりの漢詩文化への理解を深めるとともに、
全国から応募された漢詩を味わいます。

とき 10月28日(土) 13時～16時

ところ 團十郎芸術劇場うらら 大ホール

問い合わせ 石川県漢詩連盟事務局(三橋) ☎21・7671



小松九谷茶会

市内で活動する3流派(小松裏千家茶道会、小松表千家松晴会、煎茶松月流)による茶会です。地元作家の九谷焼の茶碗を使用し、地元和菓子店の創作和菓子が楽しめます。

とき 11月3日(金・祝) 9時～16時

ところ 仙叟屋敷ならびに玄庵、公会堂、
市民ギャラリーフレ

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130



小倉百人一首競技かるた全国大会

全国の都道府県代表が5人一組の団体戦を行います。

とき 11月4日(土) 9時30分～17時30分、
5日(日) 8時40分～16時30分

ところ 小松総合体育館

問い合わせ 石川県かるた協会(中田)

☎090・8268・5819



こまつ歌舞伎・秋の祭典 ～勸進帳特別企画～

松東みどり学園の生徒たちによる歌舞伎「勸進帳」と、十代目松本幸四郎丈による舞踊、葛西聖司さんとのトークショーを行います。

とき 11月5日(日) 13時～17時

ところ 團十郎芸術劇場うらら 大ホール

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130

満員御礼
応募期間終了



小松文化の祭典 リードこまつ2023

セレブレーションをテーマにした世界のファッションショーや、市内の文化・伝統芸能団体による発表を行います。

とき 11月25日(土)、26日(日) いずれも13時～17時

ところ 團十郎芸術劇場うらら 大ホール

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130



小松文化の魅力満載
「いしかわ百万石文化祭2023 市内イベント」

加賀立国1200年記念 全国国府サミットin小松



加賀立国
千二百年

～平安の世の栄華、加賀国府ロマンの地で、歴史を学び交流する～

加賀国誕生から1200年目の節目の年を迎える今年、国府の置かれた小松の地で「全国国府サミット」を開催し、全国の国府所在地から集まった人々と歴史文化を通じた交流と学びの場を創出するとともに、加賀国府の魅力を全国へ発信します。

と き 10月21日(土) 13時30分～17時30分
ところ 團十郎芸術劇場うらら 大ホール

入場
無料

定員 700人(当日先着順)

問い合わせ 加賀立国1200年祭実行委員会事務局
(埋蔵文化財センター内) ☎47・5713

歴史絵巻芸能 [13時35分～]

〈歴史舞踊〉仏御前 白拍子の舞(原町文化財保存会)
〈歴史演劇〉涌泉寺喧嘩事(鶴遊立地域活性化委員会&劇団羅針盤)

全国国府首長サミット [14時15分～]

全国12の国府所在自治体代表が国府と歴史の魅力を語ります。

参加自治体による
国府展や各地の物産市を
会場内で同時開催

11月中旬に
市公式YouTubeアカウントで
録画映像を配信予定

詳しくは市ホームページをご覧ください。

加賀立国1200年記念フォーラム [15時50分～]

「加賀立国の実像にせまる」～平安期の国府、国司と人々の暮らしと文化～

加賀国が誕生した平安時代。「源氏物語」に代表されるような優雅で華やかな世界をイメージしがちですが、その実態はどうだったのでしょうか。

次期大河ドラマの時代考証を担当する平安時代を専門とする歴史学者たちが、地方の実像や国司の役割、人々の暮らしを解説し、加賀国誕生と国府の実像に迫ります。



倉本 一宏
国際日本文化研究
センター(日教研) 教授



服藤 早苗
埼玉学園大学
名誉教授



森田 喜久男
淑徳大学人文学部
教授

ほかにも、市内では応援事業や県主催事業が以下のとおり行われます。

- 10月14日(土)～10月31日(火) 「きらめく傘のアートプロジェクト」イオンモール新小松
- 10月14日(土)～11月26日(日) 「アート×トラフィックいしかわ」小松空港
- 10月29日(日) 「福祉ふれあいフェスティバルinこまつ2023」こまつドーム
- 11月18日(土)、19日(日) 北陸新幹線沿線「獅子舞・グルメ大集合」こまつドーム
- 11月18日(土)、19日(日) 「ウゴク&エガクワークショップ」サイエンスヒルズこまつ

「そのほか」